令和7年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	水防事業	担当課名	建設水道課
		担当係名	建設管理係
（予算書コード）	08-03-02-10-01		
事業区分	単年度予算	運営方法	直　営
事業の開始・終了	年　月 ～　年　月	（事業に始期又は終期がある場合に記入）	
根拠法令等の名称	水防法		

【事業の概要及び分析】

事業の目的 （誰に対して） （何のために） （何を行うか）	水防協議会を運営し、水防法及び長野県水防計画に沿って下諏訪町水防計画の見直しを行う。 消防団、地区自主防災会等関係機関と連携し、現況にあった必要な資機材を整備する。 令和7年度は水防訓練を実施し、水防工法や災害トイレ設営、赤十字奉仕団による炊き出しの訓練を実施し万が一の災害に備える。						
事業の活動成果 （事業の実施によりどのような状態にしたいか）	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	水防訓練の実施	水防訓練参加人数	人	目　標	220	220	220
				実　績	215	216	220
				達成率	97.7%	98.2%	100.0%

【投入されたコスト・業務量】

			令和6年度決算	令和7年度決算	令和8年度予算
事業費	事　業　費　A		33 千円	36 千円	46 千円
	うち 会計年度任用職員人件費		人　千円	人　千円	人　千円
	正規職員人件費　B		0.10 人　694 千円	0.10 人　730 千円	0.10 人　751 千円
事業費合計　C（A＋B）			727 千円	766 千円	797 千円
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円
		うち 使用料・手数料　D	千円	千円	千円
	一般財源（町の負担）		727 千円	766 千円	797 千円
受益者負担率（D／C）			0 %	0 %	0 %

【事業の評価】

区　分		評　価		説　明
妥当性	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	A	法律で義務付けられている	水防法で定められた水防管理団体である。
公平性	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である	水防計画に基づき、水害が予想される危険箇所の事前調査や出水時の警戒や防御を行い、全町の被害軽減を図っている。
効率性	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A	適切である	水防協議会を開催し適切に水防計画の見直しを行っている。近年の災害状況を見ながら水防訓練を企画、開催していきたい。
達成度	事業の活動成果は目標を上回っているか （下回っている場合は、その理由）	B	目標値どおりである	水防訓練では目標の220名が参加した。諏訪建設事務所の指導により「改良積み土のう工法」やロープワークを実践し、水防技術の向上と迅速な対応体制の重要性を再確認した。今後も関係機関との連携を深め、防災体制のさらなる強化に努める。

総合評価	現状維持	近年、水害が頻発化・激甚化する中、本年度の水防訓練では目標どおり220名が参加し、確実な意識共有を図った。講師に諏訪建設事務所を迎え、「改良積み土のう工法」等の専門的な実践訓練を実施したことで、現場対応力の向上と関係機関との連携強化を実現した。今後も本訓練の成果を活かし、有事の際に迅速かつ的確に対応できる防災体制の充実に努める。
前年度の総合評価 （評価が変わった場合はその理由）	現状維持	

令和7年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	**交通安全対策**			担当課名	建設水道課
				担当係名	建設管理係
（予算書コード）	08-01-02-05-01・10-01				
事業区分	単年度予算	運営方法	直　営	委　託	
事業の開始・終了	年　月 ～　年　月	（事業に始期又は終期がある場合に記入）			
根拠法令等の名称	道路法				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 （誰に対して） （何のために） （何を行うか）	歩行者等が交通事故に遭わない、事故のない安全で快適な交通社会の実現のため、交通安全施設の整備及び啓発活動を行う。						
事業の活動成果 （事業の実施によりどのような状態にしたいか）	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	町内の交通事故件数	同左	件	目　標	55	50	45
				実　績	32	36	53
				達成率	171.9%	138.9%	84.9%

【投入されたコスト・業務量】

			令和6年度決算	令和7年度決算	令和8年度予算
事業費	事　業　費　A		6,611 千円	6,113 千円	6,181 千円
	うち 会計年度任用職員人件費		人　千円	人　千円	人　千円
	正規職員人件費　B		1.00 人　6,938 千円	1.00 人　7,295 千円	1.00 人　7,506 千円
事業費合計　C（A＋B）			13,549 千円	13,408 千円	13,687 千円
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円
		県の負担	41 千円	0 千円	0 千円
		町の借入	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円
		うち 使用料・手数料　D	千円	千円	千円
	一般財源（町の負担）		13,508 千円	13,408 千円	13,687 千円
受益者負担率（D／C）			0 %	0 %	0 %

【事業の評価】

区　分		評　価		説　明
妥当性	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B	町以外では行えない	区要望、通学路の合同点検、巡回パトロール等により、危険箇所を把握し、必要な箇所に対し整備を行っている。
公平性	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である	区や学校関係者の要望を踏まえ、通学路を中心に、危険性の高い箇所から整備を行っている。
効率性	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A	適切である	通学路を中心に、危険性の高い箇所から整備を行っている。
達成度	事業の活動成果は目標を上回っているか （下回っている場合は、その理由）	C	目標値以下である	今年度の交通事故件数は目標値を上回った。最大限の啓発・施設整備に努めてきたが、抑制には至らなかった。今後は警察との連携をさらに強化し、実効性のある対策を継続・実施していく。

総　合　評　価	**現状維持**	通学路の安全施設整備や街頭啓発、自転車ヘルメット購入補助を継続し、安全事故防止を推進した。しかし、今年度は事故件数が目標を超えたため、今後は警察とより緊密に連携し、実効性の高い対策の強化に努める。
前年度の総合評価 （評価が変わった場合はその理由）	現状維持	

令和7年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	町道の維持管理	担当課名	建設水道課
（予算書コード）	08-01-01-05-01、08-02-01-05-01、08-02-02-10-01、08-02-03-10-01、08-02-04-10-01、08-02-05-12-01、08-02-06-10-01	担当係名	建設管理係
事業区分	単年度予算 ／ 運営方法：直営 ／ 委託 ／ 補助		
事業の開始・終了	年 月 ～ 年 月 （事業に始期又は終期がある場合に記入）		
根拠法令等の名称	道路法		

【事業の概要及び分析】

事業の目的 （誰に対して） （何のために） （何を行うか）	道路は地域社会を支える基盤として重要な役割を担っており、住民の安心・安全な暮らしのために、計画的に道路、橋りょう維持補修工事を行う。冬期間は安全でスムーズな交通を確保するため、幹線道路の凍結防止剤の散布、除雪を行う。						
事業の活動成果 （事業の実施によりどのような状態にしたいか）	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	道路維持補修工事実施路線数	同左	路線数	目標	8	9	8
				実績	13	6	7
				達成率	162.5%	66.7%	87.5%

【投入されたコスト・業務量】

			令和6年度決算	令和7年度決算	令和8年度予算
事業費	事業費 A		371,730 千円	629,147 千円	365,878 千円
		うち 会計年度任用職員人件費	人 千円	人 千円	人 千円
	正規職員人件費 B		5.00 人 34,688 千円	5.00 人 36,475 千円	4.00 人 30,024 千円
事業費合計 C（A＋B）			406,418 千円	665,622 千円	395,902 千円
財源内訳	特定財源	国の負担	96,212 千円	252,135 千円	123,792 千円
		県の負担	千円	千円	千円
		町の借入	199,300 千円	322,400 千円	193,400 千円
		その他	48,984 千円	33,336 千円	31,291 千円
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円
	一般財源（町の負担）		61,922 千円	57,751 千円	47,419 千円
受益者負担率（D／C）			0 %	0 %	0 %

【事業の評価】

区分		評価		説明
妥当性	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B	町以外では行えない	道路は地域社会を支える基盤として重要な役割を担っており、住民の安心・安全な暮らしのために、町道の道路管理者である町において、維持補修、改良工事を行い、機能維持、利便性の向上を図る。また、橋りょうの健全性の確保を図る。
公平性	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である	年次計画を基に道路維持補修工事を実施。区からの要望等により、傷んだ箇所を局所的に補修工事を実施。橋りょう長寿命化修繕計画を基に、計画的に橋りょうの維持補修工事を進めており公平性が保たれている。
効率性	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A	適切である	年次計画を基に進められており、計画以外の箇所については、緊急性や重要性等を勘案し進める。
達成度	事業の活動成果は目標を上回っているか （下回っている場合は、その理由）	C	目標値以下である	昨年度は材料・労務費の高騰により目標路線数の修正を要したが、今年度は緊急要望や設計単価の変更に対応しつつ、改良事業を計画どおり着実に進めている。

総合評価	現状維持	道路維持補修は計画に基づき執行し、地域からの要望箇所へも迅速に対応した。橋りょうは長寿命化計画に沿って健全性を確保し、通報システムの活用により、危険箇所の早期把握と効率的な維持管理を実現している。
前年度の総合評価 （評価が変わった場合はその理由）	現状維持	